

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 114

千葉県立君津高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次のいずれかに該当する生徒

- ア 学力優秀かつ向学心があり、高校生活に意欲的に取り組む強い意志があること。
- イ 学力優良かつ向学心があり、中学校生活全般に対して誠実かつ積極的に取り組み、入学後もこうした取り組みを継続する強い意志があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査 (自己表現)	次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択 ア 口頭による自己表現 日本語による自己アピール 実施形態：個人で発表 検査時間：90秒程度 イ 実技による自己表現 次の種目等のうち1つを選択 〔男子・女子〕陸上競技 ソフトテニス バレーボール バスケットボール 卓球 バドミントン 剣道 書道 〔男子のみ〕野球 〔女子のみ〕ソフトボール 実施形態：個人で発表（ただし、団体種目は、複数人数で実施） 検査時間：5分程度

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書〔135点満点〕

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にK=1を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が20日以上記載がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数が2個以下の場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、 部活動の記録及び 特記事項	総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（自己表現）〔24点満点〕

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）、b（標準的である）、c（問題がある）の3段階で評価する。aを4点、bを2点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各12点満点）を合計し、得点化する。

ア 口頭による自己表現（日本語による自己アピール）

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	発表に積極的・意欲的に取り組んでいる。 発表における態度が適切である。
(イ) テーマ・内容	発表テーマの設定が適切である。 発表内容が整理されており、まとまっている。 中学校生活全般で、自分が得たもの、今後の展望などについて、しっかりと説明できている。
(ウ) スピーチの技能	発表におけるスピーチの基礎的スキルを身に付けている。 表現力豊かに、分かりやすく発表を行うことができる。

イ 実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	積極的・意欲的な態度で取り組んでいる。
(イ) 技術力	必要な技術的能力を身に付けている。
(ウ) 将来性	高校入学後の活躍が期待できる。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

ア 「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、次のパーセントまでを入学許可候補者とする。

(ア) 受検者数が募集人員以内のときは、受検者数の80パーセント

(イ) 受検者数が募集人員を超えるときは、募集人員の80パーセント

<ア：総得点の満点の内訳>

学力検査の得点	調査書の得点	学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K=1)	自己表現	
500点	135点	24点	659点

イ 上記アで決まらなかった者については、「学力検査の得点」に、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」に本校の定める係数 (k1=1、k3=3) を乗じて算出した得点を加えた「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<イ：総得点の満点の内訳>

学力検査の得点	調査書の得点	学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K=1、k1=1)	自己表現 (k3=3)	
500点	135点	72点	707点

※ k1：アの「調査書の各教科の評定の全学年の合計値にKを乗じた数値」に乗じる係数

※ k3：アの「学校設定検査の得点」に乗じる係数

(2) その他

自己申告書が提出された場合は、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいししない。

5 その他

過年度卒業生については、学校設定検査終了後、別途個人面接を行う。